

＜対策のポイント＞

- 国際基準策定機関（Codex、IPPC）の事務局に専門家を派遣し、食品安全及び植物検疫に関する国際基準の策定を主導し、普及を支援します。
- FAO（アジア太平洋地域事務所FAORAP、危機管理センター）に専門家を派遣し、アジア太平洋地域における食品安全及び植物防疫に係る能力向上、世界における越境性動物疾病の危機管理体制の構築や現場での防疫措置等を支援します。
- 牛疫ウイルスの適正管理を推進し、牛疫ワクチン供給体制を整備します。

＜事業目標＞

- SPS関連国際基準の策定の主導
- SPS措置の調和の支援（SPS関連国際基準の普及、各国における越境性動物疾病及び植物病虫害に対する防疫体制・能力の向上）

＜事業の内容＞

1. 食品安全 55百万円

- ① Codex事務局に専門家を派遣し、事務局の機能・活動強化による国際基準の策定手続きの迅速化に貢献するとともに、**関連国際会議に事務局として参加し、我が国の実情に沿った基準策定に貢献します。**
- ② FAORAPに専門家を派遣し、リスク分析能力向上に関するワークショップ開催を通じて、**アジア太平洋地域における食品安全に係る能力向上を支援します。**

2. 動物衛生 31百万円

- ① 2011年に撲滅が宣言された**牛疫の世界における清浄性維持のため牛疫ウイルスの廃棄・隔離**を推進するとともに、**再興に備えた牛疫ワクチンの供給体制を整備**します。
- ② FAO危機管理センターに我が国から専門家を派遣し、現場に介入する形で、**越境性動物疾病の発生に関する事前の危機管理体制の構築及び発生時の防疫措置に関する技術的支援を強化**します。

3. 植物防疫 49百万円

- ① IPPC事務局に専門家を派遣し、国際基準を適切に実施するための計画策定に貢献するとともに、**計画に基づく国際基準実施ツールの作成等の取組を支援**します。
- ② FAORAPに専門家を派遣し、重要病虫害の早期発見や防除等に関するワークショップ開催を通じて、**アジア地域の植物防疫に係る能力向上を支援**します。

＜事業イメージ＞

食品安全



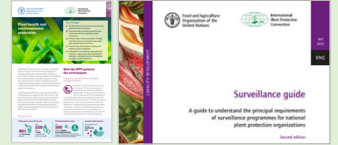
Codex事務局として会議に参加
(出典：FAO)

動物衛生



牛疫に感染した牛
(出典：農研機構動物衛生研究部門)

植物防疫



国際基準実施ツールの作成、普及
(出典：FAO)



ワークショップの開催



牛疫ワクチン供給体制の整備



病虫害防除等に関するワークショップ開催
(出典：FAO)



eラーニングコースの開発
(出典：FAO)



危機管理体制の構築（事前）
防疫措置に関する技術的支援（発生時）



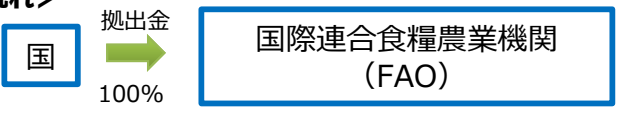
病害虫の侵入・まん延防止対策の強化

食品安全に関する国際基準の策定・普及

牛疫の清浄性維持再興への備え

越境性動物疾病に対する防疫体制向上

＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】 輸出・国際局新興地域グループ (03-3502-5913)
（1の事業）消費・安全局食品安全政策課 (03-5512-2291)
（2の事業）消費・安全局動物衛生課 (03-3502-8295)
（3の事業）消費・安全局植物防疫課 (03-3502-5978)